

令和元年度第2回学校評議員会会議録

1 会議の名称

令和元年度岩手県立釜石高等学校第2回学校評議員会

2 会議の構成

(1) 学校評議員

- 小林 智 (甲子中学校長)
- 古川 幹敏 (同窓会副会長)
- 岡道 博美 (元PTA会長)
- 菊地 次雄 (日東自動車工業株式会社代表取締役)
- 猪又 恵美子 (定時制教育振興会監事)

(2) 学校職員

- 鈴木 広樹 (校長)
- 金濱 千明 (全日制副校長)
- 松田 隆宏 (定時制副校長)
- 鈴木 勇悦 (事務長)
- 小澤 光悦 (総務主任)
- 及川 総司 (教務主任)
- 門脇 悌志 (進路指導主事)
- 山蔭 政徳 (生徒指導主事)
- 吉田 英男 (SSH推進室・理数科主任)

3 会議の開催

令和2年2月14日(木) 15:30~16:45 [釜石高等学校視聴覚室]
評議員5名、学校職員9名

4 会議の次第

- (1) 開会
- (2) 校長挨拶
- (3) 全日制概況説明
- (4) 定時制概況説明
- (5) 意見交換
- (6) その他
- (7) 閉会

5 会議の概要

意見交換

全日制について

- ・(学校評価アンケートについて) 2年生の評価の低さの原因は？

→2年生の人数の少なさが一因ではないか。2年生になると学習の難度が上がる。それがストレスの元になっているのかもしれない。

- ・ワールドカップや防災関係のボランティアなどで生徒たちがよく頑張っていたと思う。
- ・高田の資料館でも3年生の生徒の紹介がされていた。
- ・地域コーディネーターの勤務日は？

→基本的に市役所で雇用。本校での勤務は週3日である。時間給で決まった時間以外はアルバイトも可。徐々に活躍の場が増えることを期待している。

- ・交通安全活動に参加する若い人が少ない。活躍の機会を作ってもらえるとありがたいのだが。

→マナーアップ指定校になっているが、自転車通学生が少ない。保護者の車の渋滞がむしろ問題という状況である。ただ交通安全についての注意喚起の必要性は分かっており、来年度も早い時期から交通安全講話を行う予定である。ボランティアについては、案内を出してもらえれば協力できるが。

- ・(副校長) 重点目標の達成状況についてご意見をいただきたい。
- ・丁寧な説明で子どもたちの様子がわかった。この数値はすばらしい。目標数値の上げ下げは意味がないと思う。その目標数値に近づけていく、ということではないか。
- ・「(2) 取組方針 ア」について、教職員アンケートの項目に質問がないのはなぜか？

→ある意味こちら側の落ち度である。質問項目が昨年そのまま、方針は今年度から改めたので齟齬がある。互見授業は実施はしているが協議まではしていない。ただ指導主事の来校は数学では4回行った。すべての教科に広がっていないのは今後の課題である。

- ・進路指導について、国公立大学合格50名については目標を下げることも必要ではないか。子どもたちの希望は国公立だけではないわけだし、こだわらなくても良いのではないか。

学校評価アンケートの「(ア) 授業がわかる」に対する回答について、2年生が4月は非常に高かったのに12月で大幅にダウンしているのは中間学年のさまざまな負担があると思う。そこへのアドバイス、導きをお願いしたい。

- ・アンケートで職員の部活参加がダウンしている点について、外部コーチは頼んでいるか。

→コーチの委嘱をしている。働き方改革の流れがあり、国の方針、県の方針は守らなければならない。その変化が不熱心にとらえられているのかもしれない。学習については改善の余地がある。

→100 時間を越える残業をなくすなどの働き方改革の動きで、以前と比べると不熱心だと思われるのではないか。時代の流れなので、そこは仕方がない。やれるところをやれるだけやっていきたい。

- ・先生方も両立が大変だと思う。SSH の進化が素晴らしい。先生方と生徒の教科指導の場以外でのかかわりも増えていいことだと思う。拍手したい。

定時制について

- ・学校評価アンケートの数値にこだわる必要はない。自信を持ってどんどんやってほしい。

- ・途中入学というのは可能か？

→新年度での編入は可能である。ただ在校生で編入生はいない。

- ・市内にそういう受け入れ先があるのは助かる。

- ・体験学習を 3 回に増やしたということだったが、スキー教室がなくて残念だという一部からの声を聞いているが。

→スキー教室は参加が少なかった。今年のスケート教室は欠席 2 名であった。

事前に保護者にしっかり伝わっていなかったのと思う。

- ・働きながら通っている生徒は？

→定職に就いている者はゼロ。アルバイトをしている者は 3 割。勤務先はコンビニ、スーパー、ドラッグストアといったところ。いわゆる苦学生は、ほとんどいない。